

研修タイトル	ITプロジェクトのテスト設計				
研修実施概要	理想的なテストとは、より少ないテスト量で、より多くの欠陥を見つけることができるテストです。この実現には、テストケースとしてモレがないように網羅性を考慮しつつ、テスト技法を活用して効果的なテスト設計を行い、求められる品質水準とテストに投入することができる工数・コスト・期間をトレードオフで検討し、テスト計画として事前に明確にしておくことが重要です。本コースでは、テスト計画、テスト技法、テスト設計、テスト管理を体系的に学ぶことができます。				
研修コード	E13	実施期間	2024年 8月29(木) ~ 8月30日(金) 2(日間)		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト計画書に記載すべき内容を理解する ・漏れのないテストを行うために、様々なテスト網羅性の指針について理解する ・様々なテスト技法の特徴と適用方法を習得する ・ケーススタディを通し単体テスト、結合テスト、総合テストのテスト設計書に記述すべきテストケースについて習得する 				
受講料(税込)	¥78,100	時間帯	9:30~16:30 (休憩1時間含む)	定員	12名
前提条件	特になし		ジャンル	エンジニア	
実施内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>1. テストに対する心構え テストの難しさ、テストの目的、良いテストとは</p> <p>2. テストライフサイクルとテスト計画 システム開発におけるテストの位置付け、テストフェーズ、体制、テストの種類、テスト計画</p> <p>3. テスト網羅性の指針 ソフトウェアの品質特性、構造ベース、仕様ベース、設計者・有識者による網羅性の補完、品質指標値、リスクベーステスト、エラー推測</p> <p>4. テスト技法 制御フロー、同値分割、限界値分析、ドメイン分析、状態遷移、デジジョンテーブル、ペア構成テスト</p> <p>●グループ演習:テスト技法</p> <p>5. テスト設計・準備における留意事項 テスト設計における留意事項、テスト準備における留意事項</p> <p>●グループ演習:テスト設計書評価</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>6. 単体テスト設計 単体テストの目的と内容、設計の単位、設計の観点、進め方の手順</p> <p>●グループ演習 単体テスト設計</p> <p>7. 結合テスト設計 結合テストの目的と内容、設計の単位、設計の観点、進め方の手順</p> <p>8. 総合テスト設計 総合テストの目的と内容、設計の単位、設計の観点、進め方の手順</p> <p>●グループ演習 総合テスト設計</p> <p>9. テスト管理 ソフトウェア開発とテスト、テスト密度とバグ密度、ゾーン分析</p> <p>●グループ演習 テスト品質管理</p> </div> </div>				
予定講師	MSC公認講師		会場	オンライン	